

各 位

会 社 名	ログリー株式会社
代表者名	代表取締役社長 吉永 浩和 (コード番号：6579 東証マザーズ)
問合せ先	取締役CFO 岸本 雅久 (TEL. 03-6277-5617) (URL. https://corp.logly.co.jp/)

(開示事項の経過) Cookie を使用せずにユーザー属性を推定する技術を確立し、特許を取得したことに関するお知らせ

当社は、2018年6月20日付「成長可能性に関する説明資料」において開示しましたとおり、成長戦略として掲げておりました「より高度化されたネイティブ広告配信技術の開発・提供」をインターネット広告配信において Cookie などのユーザーを一意に特定する技術を使用せずに、ユーザーの属性を推定する技術を確立し、特許（特許第 6511186 号）を 2019年4月12日付で登録されたことにより取得したことをお知らせいたします。

1. 特許取得の背景

近年、インターネットにおけるユーザーのプライバシー保護について関心が高まり、ブラウザの Cookie が制限されるようになりました。また、EU 圏では GDPR (EU 一般データ保護規則 *1) が制定され、Apple 社の Safari ブラウザでは ITP (Intelligent Tracking Prevention (以下、ITP) *2) によって Cookie によるトラッキングを禁止する機能が搭載されるなど、今後もユーザーのプライバシー保護に対する仕組みが整備されていきます。

ログリーが実施したスマートフォンにおける ITP の影響調査では図に示すように、iOS のバージョンアップ以降、Cookie によるトラッキング捕捉数が約 25%減少していることがわかりました。



図 ITP による Cookie トラッキングの影響

これらの基準に対応した地域やデバイスにおいて、インターネット広告事業者は従来のような Cookie を用いた効率のよい広告配信が行えなくなり、同時にユーザー側も自分の興味や関心と関係のない広告を見る機会が増えることになりました。

2. 特許技術の概要

これらの背景を踏まえ、ログリーでは 2018 年 1 月よりユーザーのプライバシーを考慮した広告配信技術の研究開発を進めてまいりました。そして、その第一弾として、2018 年 7 月 11 日に「[ユーザーの興味を分類・可視化する技術に関して特許を取得](#)」を発表しています。

今回の特許はそれをさらに推し進め、Cookie をまったく利用せずに Web ページのアクセス情報からユーザーの性別・年齢などのデモグラフィック情報、そして興味・関心などのサイコグラフィック情報を推定する技術を確立しました。

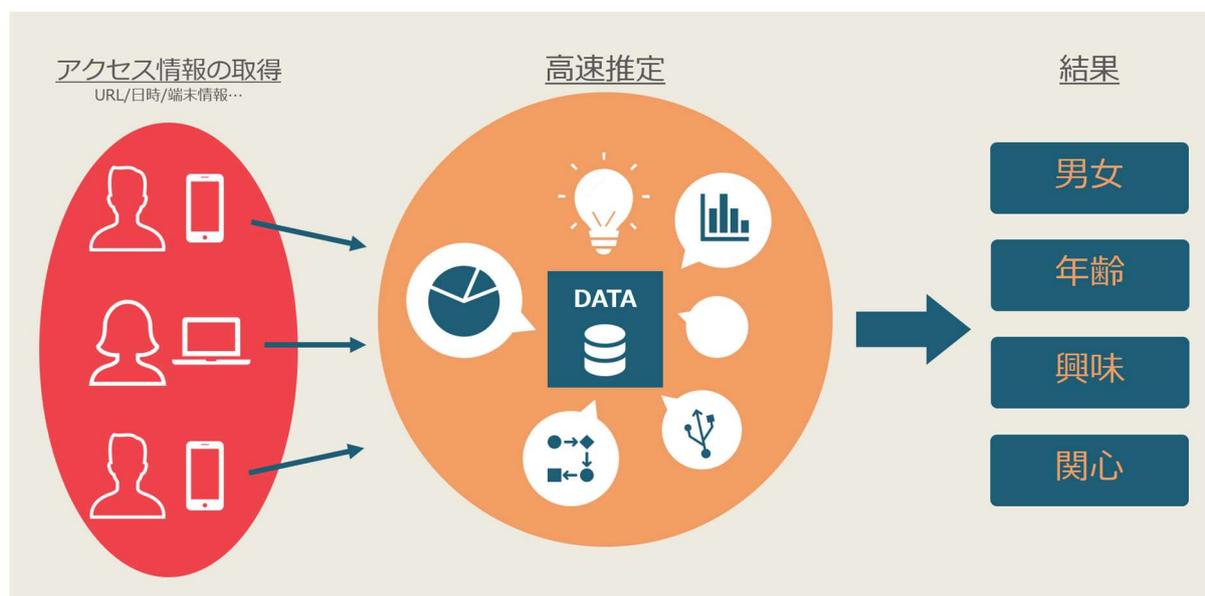


図 特許技術の概念

従来、ユーザーの属性を推定する技術として、Cookie を用いてユーザーが過去に閲覧した Web ページの履歴（行動履歴）から機械学習によってユーザーを分類し、属性を推定する手法が用いられてきました。しかしながら、Cookie が利用できない端末においては行動履歴を蓄積することができず、アクセスした単一ページの情報しか保持できません。この場合、ページの内容を解析することでユーザーの興味を推定する手法が用いられてきました。この手法ではテキストの形態素解析や意味解析を行う必要があり、膨大な Web ページを解析するには多くの時間と計算リソースが必要でした。また、リアルタイム性を求められる広告配信においては利用が難しい状況でした。さらに、グローバルに適用するには地域ごとに言語対応をしなければならないという課題もありました。

本特許技術では、ページの内容を利用することなくユーザーが Web ページにアクセスした際に取得できる URL、日時、端末情報などのアクセスログをパターン化、機械学習の技術を用いて高速にユーザー属性を推定することが可能になりました。また、アクセス情報はページの言語に依存しないため、日本語以外の Web ページにおいても適用が可能です。

属性の推定結果を広告配信に適用するシミュレーションを行った結果、アルゴリズムが適用可能と判断した広告の約90%でCPA、CTR、CVRの改善が見込めることがわかっています。下図はそれぞれ本特許技術を適用した場合（オレンジ）と適用していない場合（青）のCPA（広告による獲得単価）を比較したもので、本特許技術を適用した場合に、CPAを下げる、つまり広告効果を高める結果となりました。

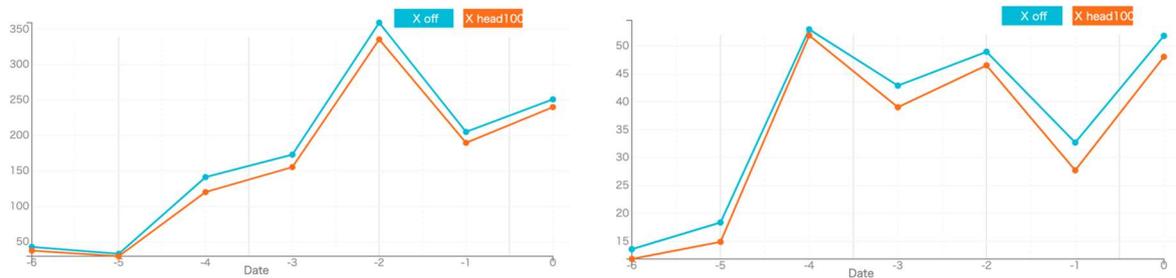


図 広告のCPAシミュレーション例

3. 今後の見通し

本件が当社の2020年3月期の業績に与える影響は軽微であります。なお、今後業績に与える影響に関しては2020年3月期の通期業績予測に織り込み済みです。

以上